

事業番号	09 03 03	事業改善シート（28年度実施事業分）		<input checked="" type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	米粉普及推進事業			担当課	部局	農政部	
					課・局・室	農業技術課	
総合5か年計画	プロジェクト			E-mail	<a href="mailto:nogi@pref.nagano.lg.jp">nogi@pref.nagano.lg.jp</a>		
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 3 信州ブランドの確立とマーケットの創出		実施期間	H21 ~		
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	3-3 活力と循環の信州経済の創出					
	施策展開	3-(1) 経済構造の転換 ア 県内産業の競争力強化 ウ 農業の競争力強化					

1 事業の概要

目指す姿	○ 県内製造事業者等に対する技術力向上支援により、県内産米粉の需要拡大と学校給食における米粉製品の利用拡大を目指す。										
現状（予算編成時）	○ 米粉の利用は、県産米の地産地消の推進や、水田の有効活用、米の需給調整手法の多様化等に極めて有効であり、独特の食感のある米粉製品への県民・事業者の関心は高いが、県内での米粉の用途は限定的で利用量も少ないことから、米粉用米の取組面積が減少している。 ○ 今後は消費動向に基づく販売と消費需要拡大の取組を実施する必要があり、学校給食等での消費需要の拡大を図る必要がある。また、米穀の新用途利用について、県内製パン事業者及び学校給食関係者に対する情報提供も必要である。										
県が関与する理由	県関与の必要性あり 県民との協働による実施:今後実施予定	【左記の説明、根拠法令等】 長野県全体における地産地消の推進や、水田の有効活用を図るため、県の関与が必要である。「長野県食と農業農村振興計画」									
成果目標・事業内容	① 成果目標 (H28)										
	学校給食における米粉パン延べ実施回数: H26実績(2,389回)とH29目標(2,750回)との差を3年で均等に引き上げ										
	② 事業内容 (単位:千円)										
		項目	実施方法	H28実施内容	H27 (当初)	H28 (要求) (予算案)					
	学校給食等での米粉の利用促進	直接	(1) 製パン業者等を対象とした意見交換会の実施 (2) 米粉パン給食実施促進に向けた、学校給食関係機関との意見交換会の実施  米穀の新用途利用講習会の開催（県下1会場）	327	307						
	合計			327	307	0					
事業コスト	区分(単位:千円)	26年度	27年度	28要求	28予算案	成果目標の達成状況					
	前年度繰越	0	0			項目	H26末	H27末(見込)	H28		H29目標
	当初予算	12,911	327	307					目標	成果	達成状況
	補正予算	0	0			学校給食における米粉パン延べ実施回数	2,389	2,548	2,600		
	合計(A)	12,911	327	307	0						
	一般財源	330	327	307							
	県債	0	0	0							
	国庫支出金	0	0	0							
	その他	12,581	0	0	0						
	決算額(B)	12,581									
概算人件費	職員数(人)	2.00	2.00	2.00							
	概算人件費(C)	16,516	16,516	16,516	0						
	概算事業費(B(A)+C)	29,097	16,843	16,823	0						
指摘事項等への対応	<input type="checkbox"/> 監査 <input checked="" type="checkbox"/> 決算特別委員会 <input type="checkbox"/> 県民協働による事業改善		(指摘事項等) 米粉の積極的な普及推進を図ること		(対応) 学校給食等での米粉の利用促進を図っていく						
要求からの主な変更点											